

## 竿の持ち方

使っていない竿は針をガイドに引っ掛けて後ろに立てかけておきます  
左手の中指と薬指の間にリールの足を挟むように持ちます

## リールの使い方

ハンドルを回すと糸を巻き取ります  
糸を出すときはベールを開きます  
糸がうまく出ないときは右手で引き出します  
一定以上の強い力で引っ張ると糸が出る仕組みになっています  
ドラッグ調整ノブは調整済みですから触らないでください

## いけすの形状と 魚のいる場所

足元で水深4.5メートル、真ん中で40センチほど深くなっています  
真鯛は底網から50センチの範囲にいます  
青物は底から1メートル、シマアジは底から1.5メートルが目安です

## 仕掛けの仕組み

竿の長さより深いところに仕掛けを落とすのでウキが移動する仕組みになっています  
ウキはウキ止めの位置で止まります  
今は、真鯛のいるところに合わせてありますので調整する必要はありません  
別の棚を釣るときは浅く調整します

## 仕掛けの投入か ら取り込みまで

エサをつける  
リールのベールを開くと同時に糸が勝手に出ないように手で押さえておく  
エサがオモリと絡まないようにゆっくり沈める  
あたりがあったら合わせる（まだ巻かない）  
巻きあげるのではなく竿を立てて魚を浮かす  
魚が浮いてきたら竿を下げながら巻く  
何度か繰り返してオモリが見えたらそれ以上巻かない  
竿をしっかり立てて魚を手前に寄せてからたも網ですくう

## 釣った魚をスカ リに入れる

針を外すときはペンチなどを使ってください  
飲み込んでしまったときは口から20センチ糸が出たところで切ってください  
魚を素手で触ると危険ですからタオルなどを使ってスカリに入れてください

## 針の交換方法

クリップを外して交換します

## エサの種類

ダンゴエサ、きびなご、ささみ、エビなど色々変えないと釣れなくなってしまいます

交換ハリやエサは事務所でいつでも購入していただけます